

Miyakonojo Higashi High School Newsletter

2014年7月発行



(左より) 京都ノートルダム女子大学 片山裕副学長、芹田健太郎学長、 学校法人玉城学園 清水豊理事長、都城東高等学校 原田誠一郎校長

図るための事業を行 図るための事業を行 図るための事業を行 が上後の資質向上を が生徒の資質向上を が生徒の資質向上を が生徒の資質が上に、高 で生徒の資質が上が、高



ま大き力てのよとに股知す く・、文っ大宮町的るそ す。 な貢教地化 て、 き崎 財高 く県都産度 目献育域発 的す力全信本開・城をな る向体拠校く南市、 学大 "、と州 てとへ文と さの的が いを大化しそにへ

と高大連携包括協定締結京都ノートルダム女子大学』

0

て

き

ま

体験入学~新コースの紹介~

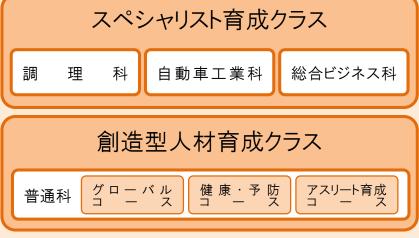
OPEN CAMPUS

August 7th, 8th

8月7日(木)・8日(金)の二日間で、中学校3年生を対象にした、体験入学を実施します。時間は、午前8時30分から午後4時の間です。

よりたくさんの中学生に グローバル教育推進を核と した取り組みを体感できる と思います。

最初に、本校の教育コンセプトである「デュアル教育」「グローバル教育」「儒教道徳教育」を柱とした、学科及び来年度からスタートする新しいコースの概要説明を行った後、全学科を



来年度からの各学科・コース

40分ずつ体験していくプログラムとなっています。

それぞれの学科の体験内容は次の通りです。

調	理科	自動車工業科	総合ビジネス科	普	通科
調理実習	お弁当作り ワンポイントレッスン	技 術 体 ポート・電気自動車 乗車体験	授業 体体 なかプラリーカード を作ろう!	授業体験	英語であそぼう

English Summer Camp

イングリッシュティーチャー11名とともに、サマーキャンプを実施することになりました。日程は、8月11日(月)から13日(水)までの2泊3日で、宮崎県青島青少年自然の家にて行います。

このキャンプは、フィミン人教師ととの英点を変更を重要を重要を重要を表示を要がなる機会をできるのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないののでは、ないののでは、ないのののでは、ないのののでは、ないのののでは、ないののでは、ないののでは、ないののでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、いいの



はっとりゆ きお

服部幸應先生の学校とコラボ



7月7日(月)に宮崎市の MRT micc にて開催された、一般社団法人日本幸加齢フォーラム(JFHA)の記念イベントにおいて、調理科3年生が料理プレゼンテーションのサポートを務めました。

料理プレゼンテーション は、武藤先生、調理科3年 5組の生徒全員と担任の濱

尾先生が、JFHA 理事を兼任する服部栄養専門学校の志賀元清先生、樋口直哉先生とコラボ

して、本校の調理実習室で準備(下ごしらえ)したものを 会場に持ち込み披露する形で実施されました。

3年5組全員が会場に行くことはできませんでしたが、 代表の12名が宮崎の食材をふんだんに使った料理を手際 よく調理し振る舞いました。





都城東から世界へ!~日本の未来をささえ、グローバルな舞台で活躍できる『人材』を育成します。~

本校が推進している『グローバル教育』を、海外での語学研修を経験した生徒や活躍中 の English Teacher の感想や気持ちを通して伝えていくページです。

『語学研修生クローズアップ!』 普通科3年 別納志歩さん

本校での、フィリピン語学研修第1号の普通科3年4組別納志歩さんの感想文の一部 です。彼女の成長がよくわかる文章です。

(別納さんの感想文)

フィリピンでの3ヶ月間は、毎日が今まで経験したこと がないことの連続で、全ての事が私の興味を刺激しまし た。もちろん辛いこともありましたが、そんな時は日本に いる家族や友人、先生方がサポートしてくれました。そん な方々と離れて暮らすことで、私を支えてくれる方々の存 在を再認識でき感謝することができました。

そして、海外で暮らしたからこそ、日本という国の良さ に改めて気づかされました。この経験は私にとって貴重な 経験であり、このことは私の価値観を変え、もっと広い考 え方を身に付けることができたような気がします。

3ヶ月間の語学研修は、語学を学ぶだけでなく、将来の

生き方を考えるときに大切なものを見つけるための期間だったような気がします。この ような経験をさせていただき、ありがとうございました。



University of St. La Salle Batch May 2014

To assume responsibility is one thing. To prove yourself worthy of that responsibility is another.

For the past three months, we have shared the same responsibility with everybody in Miyakonojo Higashi High School. And we realized that it's not always the student who learns from the teacher. In fact, true learning is a two-way process, and its success is defined by its reversibility. But in the end, the best learning we could have is realizing that our responsibility does not end here. The world is a big place, and we have only tried to smoothen at least a portion of it. But from now on, we hope that change will start from this institution—the institution which has endeavored to globalize its students right from the very start.

Now, we leave Miyakonojo Higashi High School always confident that the path we have started might somehow bring our youth into the world's arena.

Cheers to a better future.

Love,



















